

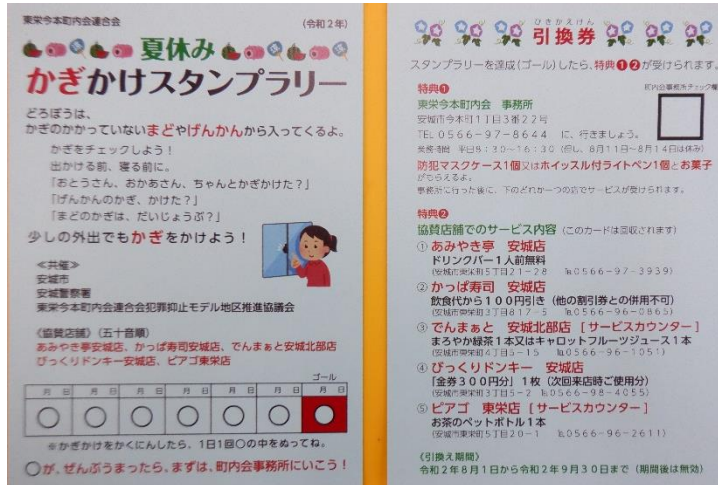
15 東栄今本町内会連合会（安城市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	東栄今本町内会連合会
2 事業名	地域の絆で安心・安全な街づくり事業
3 事業実施結果	<p>東栄町及び今本町は、住宅街、商業施設、工場等が混在しており、東西に主要幹線道路である国道1号が横断し、南端には名鉄名古屋本線の主要駅である新安城駅が位置し、多くの人や車が行き交う地域です。</p> <p>犯罪情勢については、令和元年と5年前の平成27年を比較すると安城市全体の刑法犯認知件数の減少率に比べ、両町内会の減少幅は少なく、侵入盗及び自転車盗は、ほぼ横ばいの状況でした。</p> <p>また、昨年は特殊詐欺被害が3件発生しました。</p> <p>今年度は、安城市市民安全条例に基づき「犯罪抑止モデル地区」の指定を受け、町内の自主防犯活動のほか、市及び警察、企業と連携した取組みを実施し、住民の防犯意識を高め、犯罪の起きにくいまちづくりを推進しました。</p> <p>1 各種事業において啓発活動の実施（B事業）</p> <p>(1) 防犯プレートの設置</p> <p>町内会から各世帯に防犯プレートを配布し、住民の防犯意識の高揚を図り、犯罪者が犯行を断念する「地域の目」を強化しました。</p> <div data-bbox="403 1413 1460 1765"> </div> <p>(2) 夏休み「かぎかけスタンプラリー」の実施</p> <p>夏休み期間を利用して、子ども会加入者に「夏休みかぎかけスタンプラリー」に参加してもらいました。目標を達成した参加者は、町内会事務所で啓発品を受け取り、さらに、町内の協賛店（飲食店3店舗・スーパー2店舗）からサービスを受けることができます。</p> <p>子どもに鍵掛を習慣づけさせることで、家族内の防犯意識の向上を図</p>

ることができました。



(3) 特殊詐欺対策グッズの配布

高齢者を特殊詐欺から守るために、簡易型自動録音機「録音チュー」30個を配布しました。「録音チュー」は、固定電話に簡単に取り付けることができ、電話に应答すると警告メッセージが流れ会話が録音されます。



(4) 「似顔絵はがき」による特殊詐欺被害防止

両町内会長の似顔絵に預貯金詐欺の手口の吹き出しを入れたはがきを作成しました。敬老の日に合わせて、町内の65歳以上が住む1,154世帯に郵送して、特殊詐欺が身近な犯罪であることを注意喚起しました。



(5) 青空防犯教室

特殊詐欺被害防止の講話を警察官が、

- ・安城北部小学校の校庭においてスクールガード
- ・東栄公園においてランドゴルフ会員

に対して行いました。高齢者を対象に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため屋外で実施しました。



安城北部小学校



東栄公園

(6) 「町内会だより」の発行

「町内会だより」は、月1回発行して回覧しています。毎回、町内会が行っている各種防犯活動を掲載し、定期的に特殊詐欺や侵入盗の注意喚起をしました。

また、町内で侵入盗が連続発生した8月には「緊急回覧」を作成し、侵入手口と具体的な防犯対策を周知しました。

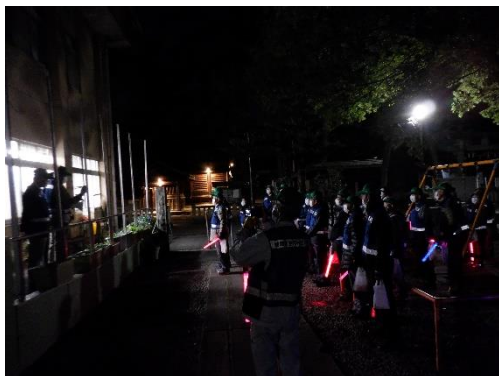
町内会だより



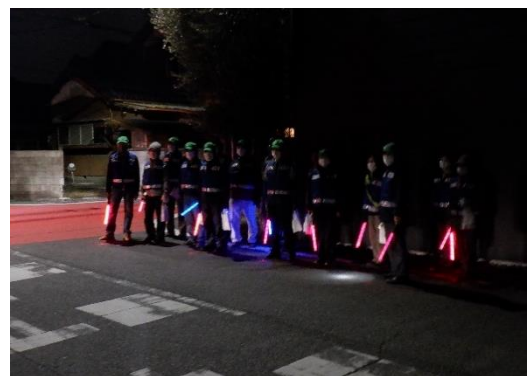
緊急回覧

(7) 年末特別警戒における市、警察との合同パトロールの実施

12月10日、安城警察署生活安全課長から激励を受けた後、徒歩にて町内の夜間パトロールを実施しました。



生活安全課長の激励



パトロール活動

(8) 街頭啓発活動の実施

12月11日、安城警察署と安城市役所の協力を得て、町内会事務所に隣接する白山神社が毎月1と6の日に行う朝市で、買い物客に防犯啓発チラシと啓発品（マスクケース等）を配布しました。地元の方が多く、年末に増加する空き巣や詐欺の被害に遭わないよう呼びかけました。



2 主要道路に街路灯フラッグを設置し、防犯意識と連携を強化（C事業）

（1）街路灯フラッグの設置

地元小学生のデザインを取り入れた街路灯フラッグを作成しました。町内の主要道路を「北部防犯ロード」と称して、約450メートルに亘り、街路灯フラッグを20枚設置し、往来する住民に対して防犯意識の高揚を図りました。



3 北部小学校区におけるあいさつ運動・声かけの推進（D事業）

（1）あいさつ運動決起集会の開催

スクールガード、老人会、子ども会役員等で、あいさつ運動委員会を結成して決起集会を開催しました。基本理念は、「地域の目で、子どもを見守り、育てよう」です。



町内会事務所に隣接する「今村公会堂」にて

（2）あいさつ運動の実施

安城北部小学校の通学路でもある北部防犯ロードで、毎月1回、児童の下校時にあいさつ運動を実施しました。地元企業、市、警察も参加しました。「空き巣狙い多発」等のハンドプレートを使用して、下校する児童にあいさつ・声かけをすると、子どもたちは元気にあいさつを返してきまし

た。



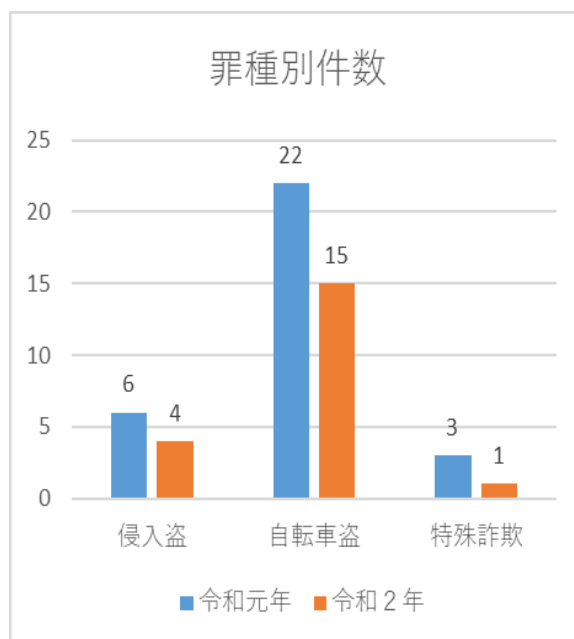
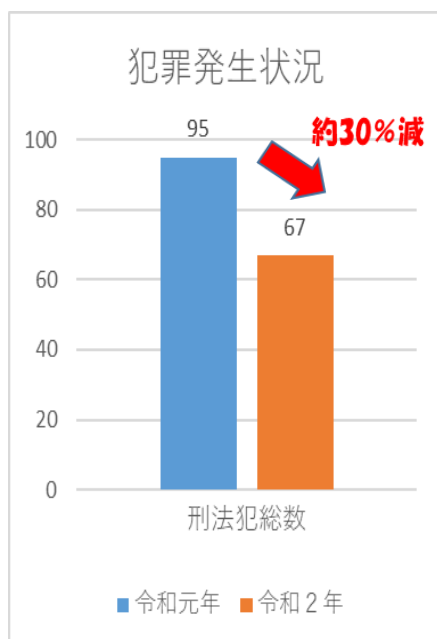
ハンドプレート



1 事業実施の成果及び課題

(1) 成果

下記グラフのとおり、犯罪発生状況を比較すると、昨年と比べ刑法犯総数は約30%減少し、侵入盗など防犯活動に力を入れた罪種も大幅に減少しました。各種取組みが、犯罪減少につながったと考えています。



4 成果と課題
及び今後の
取組み

本年3月に町内で特殊詐欺の被害が発生しましたが、その後、似顔絵はがきや青空防犯教室による防犯啓発活動を行いました。その成果もあり、本事業期間中に特殊詐欺の被害はありませんでした。

市や警察の協力を得て、町内会や老人会、地元企業等が参加するあいさつ運動をスタートさせることができました。地域における連携の強化や地域住民の防犯意識の向上につながりました。

(2) 課題

あいさつ運動や防犯パトロール等の参加者は、いつも同じ顔ぶれで高齢化しています。町内会が行っている防犯活動を積極的に広報して、新規加入者を募り、体制の強化を図る必要があります。

2 今後の取組み

今年は、新型コロナウイルスの影響で、予定していた住宅防犯診断やナンバープレート盗難防止ねじ取付キャンペーンを中止しました。今後は、市や警察に協力してもらいながら、侵入盗や自動車関連窃盗の防犯対策についても力を入れていきたいと思ひます。

また、あいさつ運動を継続して、地域コミュニケーションの拡大を図り、地域の絆をより強固なものにして、犯罪の起きにくい地域にしていきたいと思ひます。